

# 週間漁海況情報 2023年第35号

令和5年8月29日発行

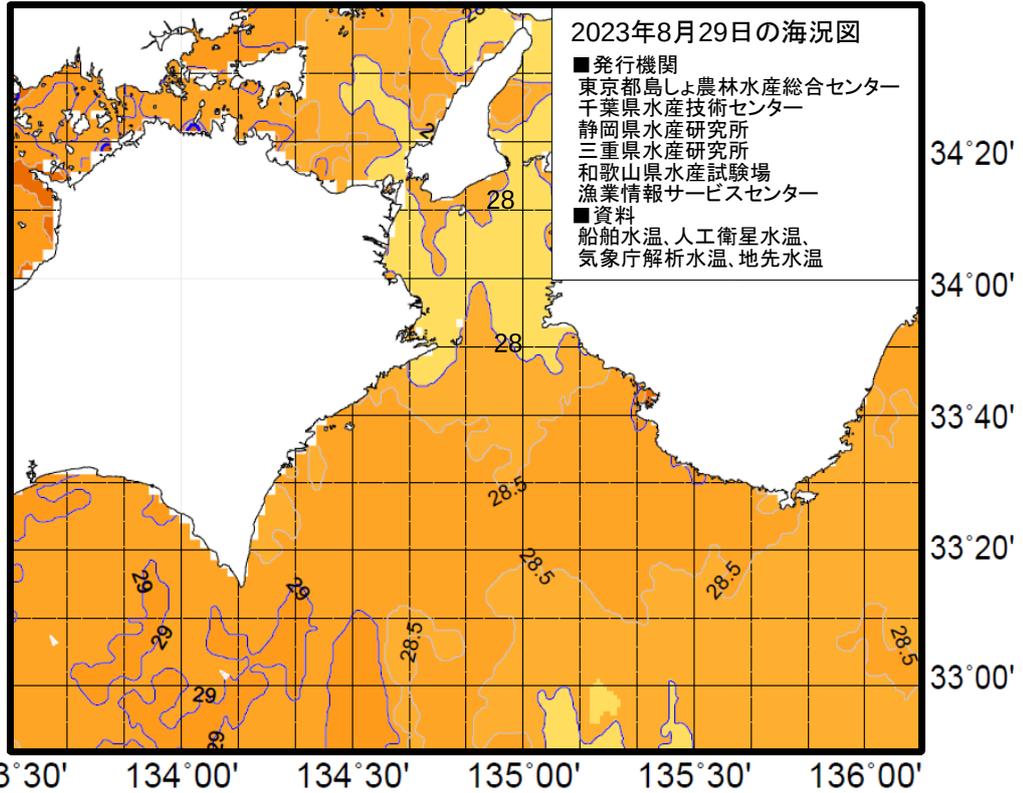
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖45マイル付近、潮岬沖98マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。今後も、黒潮は室戸岬に近づき、その後は離れると予測されている。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸とも27～28℃台となっている。8月下旬～9月上旬は1年でもっとも海水温の高い時期であり、周辺海域の水温差は小さい。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

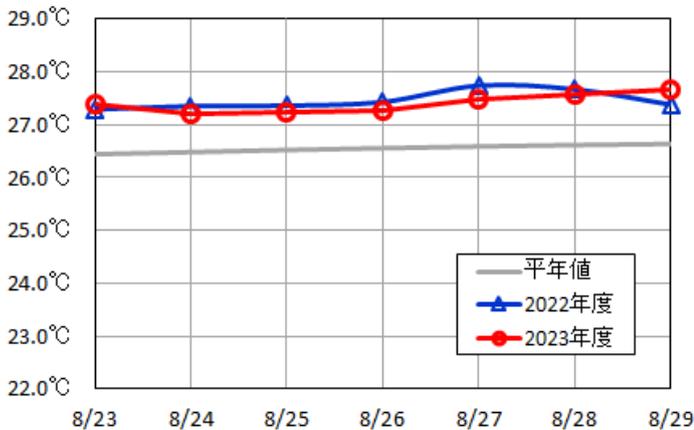
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

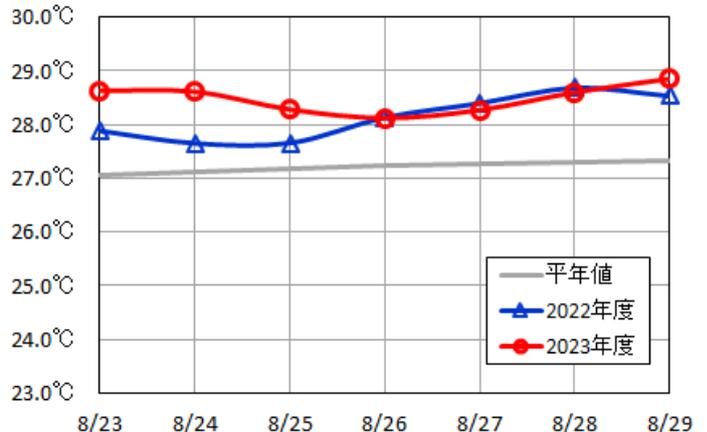
### 2. 地先水温(8月23日～8月29日)

鳴門地区の水温は、27.1～27.6℃で「やや高め」、浅川地区は、28.1～28.8℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.7～1.4℃で、先週と比べて若干広がった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(鳴門)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(8月30日～9月5日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

**漁況** (8月21日～8月27日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協：5)**

船びき網では、シラスが大きく増えて74.3ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に5.7ト、あまだい類が増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って豆あじ主体に1.1ト、マルアジが大きく増えて小主体に0.4ト、イサキが大きく増えて0.4ト、ふえふきだいら類が大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に8.1ト、えそ類が増えて1ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協：4)**

延縄では、ハモが減って0.5ト、キダイが大きく増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて1.5ト、マサバが大きく増えて0.7ト、ウルメイワシが大きく増えて0.3ト、マアジが豆あじ主体に0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	100	シラス	74,250	743		↗↗
	釣り	14	イサキ	225	16		↗
	延縄	53	ハモ	5,692	107	中主体	↗
		43	あまだい類	267	6		↗
	小型定置網	20	マアジ	1,086	54	豆あじ主体	↘
		15	マルアジ	416	28	小主体	↗↗
		16	イサキ	369	23		↗↗
		15	ふえふきだいら類	345	23	大主体	↗↗
	底びき網	37	ハモ	8,089	219	中主体	→
		34	えそ類	964	28		↗
海部沿岸	延縄	8	ハモ	523	65		↘
		12	キダイ	428	36	大主体	↗↗
	小型定置網	17	かます類	1,514	89		↗↗
		6	マサバ	735	122		↗↗
		3	ウルメイワシ	261	87		↗↗
20	マアジ	246	12	豆あじ主体	→		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘